

2026年9月8日

各 位

株式会社リボミック
(コード番号:4591 東証グロース)

The International Skeletal Dysplasia Society 国際会議のご報告

2026年8月26-29日にトロント(カナダ)で開催された ISDS(International Skeletal Dysplasia Society、国際骨格異形成学会)^{註1}国際会議において、当社の umedaptanib pegol (抗 FGF2 アプタマー)を用いた軟骨無形成症(achondroplasia, ACHと略)に対する第2相臨床試験の結果が発表、議論されましたので、その内容についてご報告いたします。

現在、ACH 治療薬としては3剤(Vosoritide / Infigratinib / TransCon CNP)が、すでに上市、あるいは Phase 3 終了または FDA 承認となっています。当社の umedaptanib pegol は4剤目の ACH 治療薬として、“Best-in-Class”の薬剤を目指して開発を進めております。当会議にはそれらの関係者が一堂に会して最新情報の入手と意見交換の場となりました。他社3剤の報告は、いずれも長期試験における小児患者の安全性に主眼を置いたもので、長ければ 10 年に及ぶ投薬の安全性(健康リスク)と健全な成長を検証することの重要性に準拠したものでした。

当社の薬剤はそれらとは作用機序が全く異なる新薬で、FGF2 を抑えることで ACH を治療できるという当初の概念実証(POC)に成功したことについて、当該領域の研究者や患者の方々から高い関心が寄せられました。他社の薬剤の効果は、いずれも、身長の間年伸展速度が+1.7cm 以下と報告されています。当社の薬剤が現在実施中の Phase 3 試験で、+2~3cm 以上の年間伸展速度を実現できれば、病気の子供達にとって大きな benefit を有する治療選択肢となります。

当社の発表資料は下記 URL にてご覧いただけます。

URL:<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4591/announcement4/124762/00.pdf>

^{註1} 1999年にチューリッヒ(スイス)で設立された骨格形成不全および骨格異形成の分野における科学的進歩を促進する目的の国際的な組織です。2年おきに開催される年次総会では、ACH を始めとする骨格形成不全の疾患に関する薬理学的、遺伝学的、生化学的、医学的研究、ならびに医薬品開発や臨床研究等の進歩が発表され、当該分野では世界で最も権威ある研究集会の一つとなっております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先:財務経理部 <https://www.ribomic.com/contact.php>】